

■第1回松田町第6次総合計画策定審議会 意見対応方針

番号	意見	対応方針
1	基本構想等の項目で第5次との違いは何か。	基本構想の素案を示す際には、第5次との違いが分かるように示す。
2	アンケートについて、松田町内への事業者向けのアンケートがあってもよいのではないか。	商工会の方に現状を直接聞いていく方向で調整中。また、団体ヒアリングの対象として、事業者等を対象とすることも検討する。
3	町の各委員になっている女性の方に聞いたらいい意見も聞けるのではないかと。	団体ヒアリングの対象として、女性の団体を対象とすることも検討する。
4	夏休みになると寺子屋がある。そこで女性に聞いてみるのもいいのではないかと。	団体ヒアリングの対象として、女性の団体を対象とすることも検討する。
5	女性活躍に関連して、アンケートを見ると、20代の回答が低いようである。未婚の女性の声を聞けたらよりよいのではないかと。	団体ヒアリングの対象として、女性の団体を対象とすることも検討する。
6	アンケートについて、松田地区と寄地区を分けて分析すればよりよい分析ができるのではないかと。	現段階では単純集計の速報値なので、今後、クロス集計・分析を行い、次回審議会で報告する。

■第1回松田町第6次総合計画策定審議会 その他の委員提案に対する対応方針

番号	意見	対応方針
1	小さい頃から「地域の大切さ」を子どもたちに意識させるよう育成していきたい。	地域に愛着・誇りをもった「人づくり」は、総合計画の重要なテーマとして議論していきたい。
2	町内企業が一体となってまちづくりを進めていきたい。	商工会と連携し企業・事業者の意向を確認しながら、民間と一体となった取組みを検討していきたい。
3	自分の子どもが松田町を好きになってほしいし、自分の世代にとっても地域とどのように関わっていくかを考えたい。	地域に愛着・誇りをもった「人づくり」は、総合計画の重要なテーマとして議論していきたい。
4	少子高齢化社会に対応する福祉関連が課題と思われる。	子育て支援や高齢者福祉は、現状だけではなく、将来も見据えた重要な課題と考えているので、地域の声を聞きながら担当課も含めて議論していきたい。
5	中学生ワークショップについては、内容・手法をよく検討されたい。	教育委員会と調整を行い、1時限（50分）を利用して担任の先生にもご協力いただきながら進めて行く予定である。
6	町内の農地を10～20年のスパンで維持していくには、新規就農者の掘り起こし、技術指導等が肝要であるため計画に盛り込んでいきたい。	団体ヒアリングの対象として農業関係者も想定しており、ご意見を聞きながら具体的な取組みを検討していきたい。

番号	意見	対応方針
7	協働や役割という言葉は、「押しつけ」のイメージがあり、これを嫌がる傾向がある。実現にあたっては、コミュニティの維持が基盤として必要である。	自治基本条例の作成した後の総合計画であり、「協働・連携協力」の基本となるコミュニティの維持は、重要なテーマとして議論していきたい。
8	企業誘致が難しい本町では、「観光」と「子育て支援」に集中して取り組んでいったらよいと思う。	地方創生においても、「観光」と「子育て支援」は重要なテーマとして取り組んでおり、引き続き総合計画においても効果的な取組みを検討していきたい。
9	活性化していくためには、地域をどう巻き込んでいくか。他人任せでは賑わいは戻らない。	今回の計画策定においても多様な主体の参画・意見聴取を行いながら進めている。今後のまちづくりも一体となって取り組んでいく方法を検討したい。
10	さまざまな施策があると思うが、ポイントを絞ってまちづくりを進めていくべきである。	町民の満足度・重要度等も含めたこれまでの取組評価を行いながら、施策の重点化を図っていきたいと考えている。

■第1回松田町第6次総合計画策定審議会 その他の意見（会議で回答済）

番号	意見	回答
1	中学生のワークショップはこれまでになかったが、今回、設けた意図はなにか。	これまでは、主に町民アンケート調査と座談会を実施してきたが、今回のアンケート以外に、中学生にも簡易的なアンケートとワークショップを開き、町の未来について議論していただくものである。
2	ワーキンググループが中心となって立案していくようだが、その構成は役場の職員か。	ワーキンググループは、役場の各課等の係長で構成している。
3	自治体によっては、町民が直接参加することもあるが、今回は、アンケートや座談会より意見を収集するということか。	町民からのご意見はアンケートや座談会でうかがっていく。
4	地方創生に基づく取組みについて、町が力を入れている事業なのに、住民から見た時にあまり浸透していないようだが、どのように考えるか。	アンケートをみると、無回答、わからないといった回答者が多い。施策について、町民に知っていただく努力がもっと必要だと考えている。
5	町民アンケート P4、5 について、交通利便性についての評価があるが、交通利便が悪いというのはどういうことか。一方では、良い評価となっている。	地区による違いが結果に表れたと考えられる。寄地区では8割以上が「交通の便が悪い」と回答している。
6	自治会活動や町の行事への参加について関心がある。地域の人にも関心を持ってもらうには、どうすればよいのか。	地域の祭りになると参加が増える傾向にある。また、お子さんを呼べば親も来るので、お子さんに関心を持ってもらうような工夫をしている。（委員より回答）